



2025年12月期 第2四半期決算 補足説明資料

証券コード：3968

2025年8月13日

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。
さまざまな要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

売上高は半期で初の100億円超過！

売上高、売上総利益、営業利益は過去最高値を更新！

売上高はほぼ計画通り、営業利益は上振れ、通期業績予想を上方修正

売上高

100.0 億円

前年
同期比 18.9% UP



売上総利益

25.5 億円

前年
同期比 20.3% UP

営業利益

6.8 億円

前年
同期比 97.5% UP

経常利益

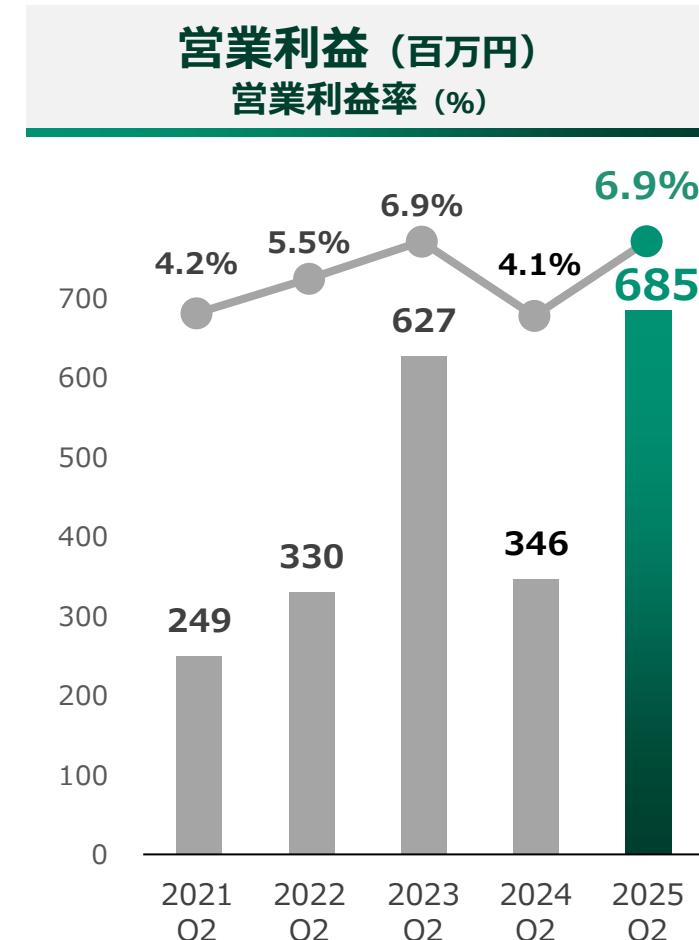
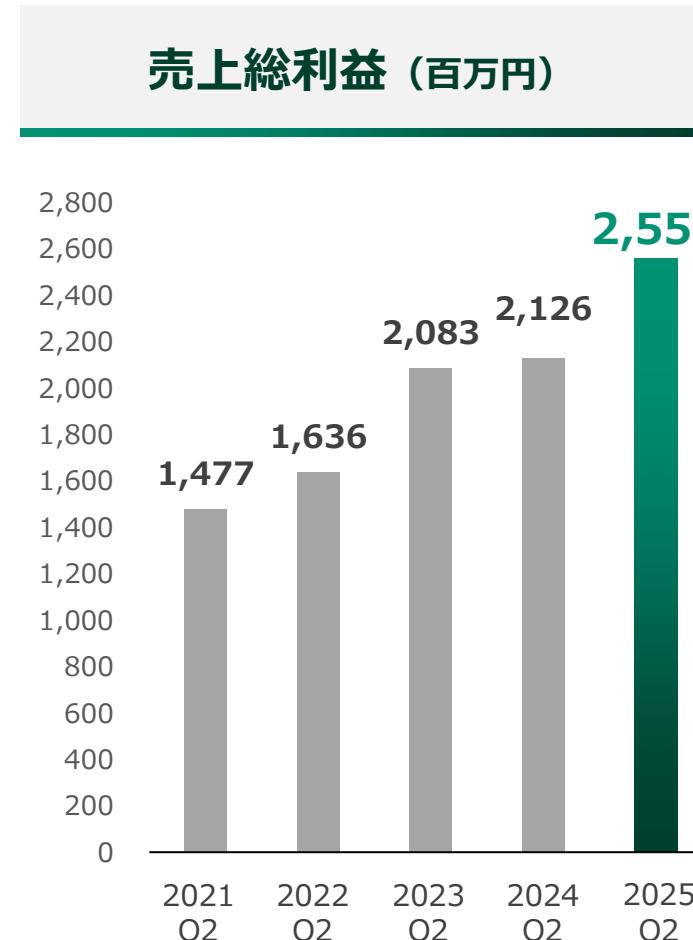
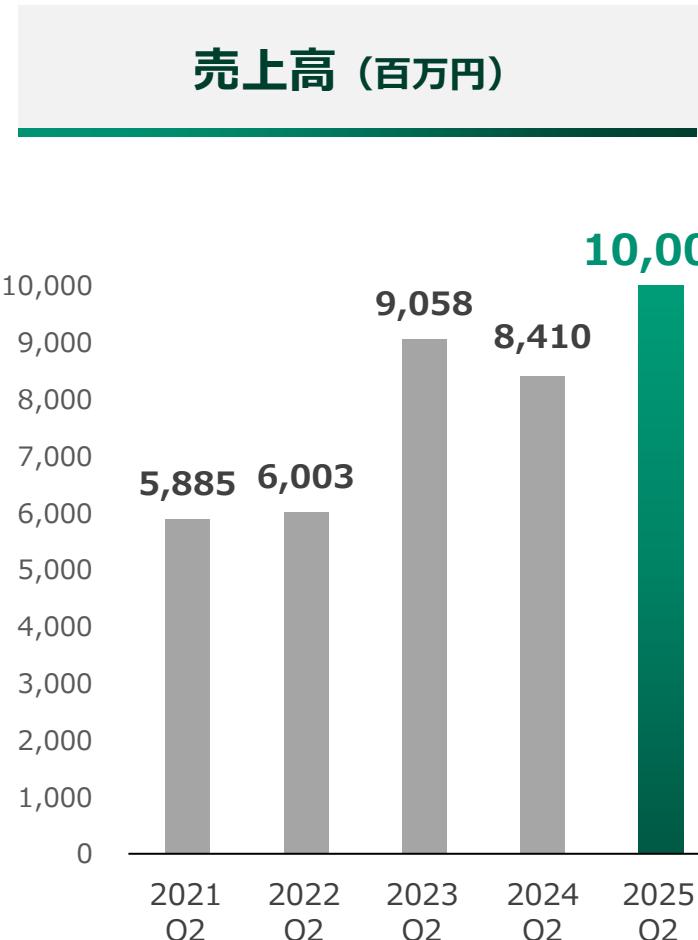
6.7 億円

前年
同期比 8.4% Down

- 売上高： VADビジネスを中心に好調に推移
- 売上総利益： 売上高の伸長および売上総利益率改善により増益
- 営業利益： 売上総利益の増加に加え、株主優待制度の見直しやM&A関連の一時費用がなくなったことにより大幅増益に
- 経常利益： 前年同期は一時的な営業外収益（デリバティブ解約益 約4億円）を計上したため減益に

第2四半期業績推移

複数の大型案件売上計上により、業績が大きく進捗し
第2四半期単体として売上高、売上総利益、営業利益は、過去最高値を更新



受注の状況

社会的なDX、セキュリティニーズの高まりにより受注は非常に好調

それに加え、官公庁向け超大型案件の受注により受注高・受注残高ともに大幅増となる

プロダクトの受注高は前年同期比230%となり約78億円増加

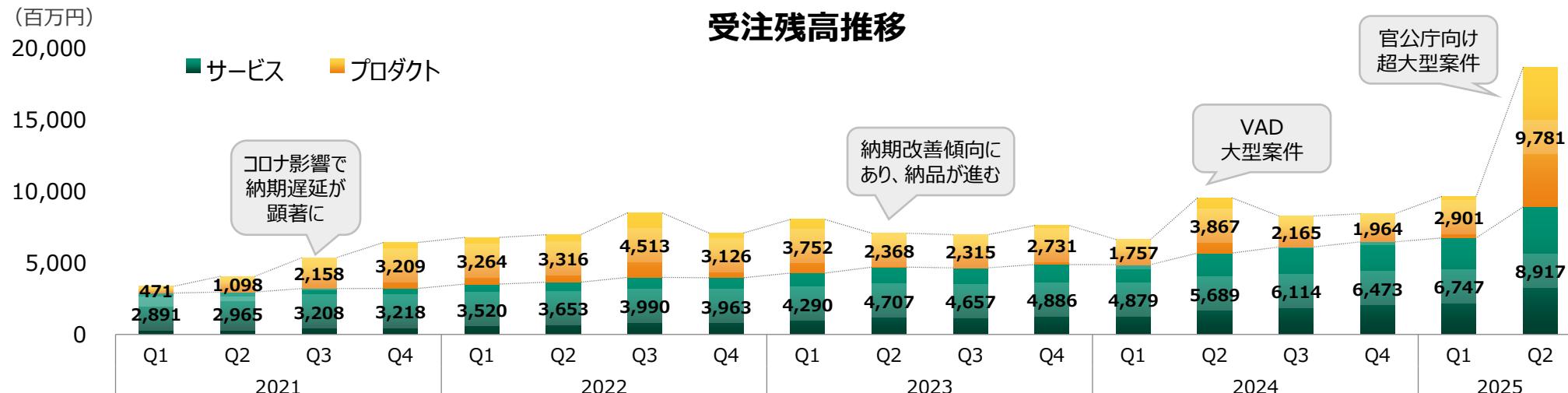
ストック性の高いサービスの受注も大きく伸長

受注高推移

単位：百万円

	2022. Q2	2023. Q2	2024. Q2	2025. Q2	前年同期比 増減率
プロダクト	3,738	5,037	5,968	13,740	+130.2%
サービス	2,806	4,006	4,382	6,522	+48.8%
合計	6,545	9,043	10,350	20,262	+95.8%

受注残高推移



ビジネス別数値

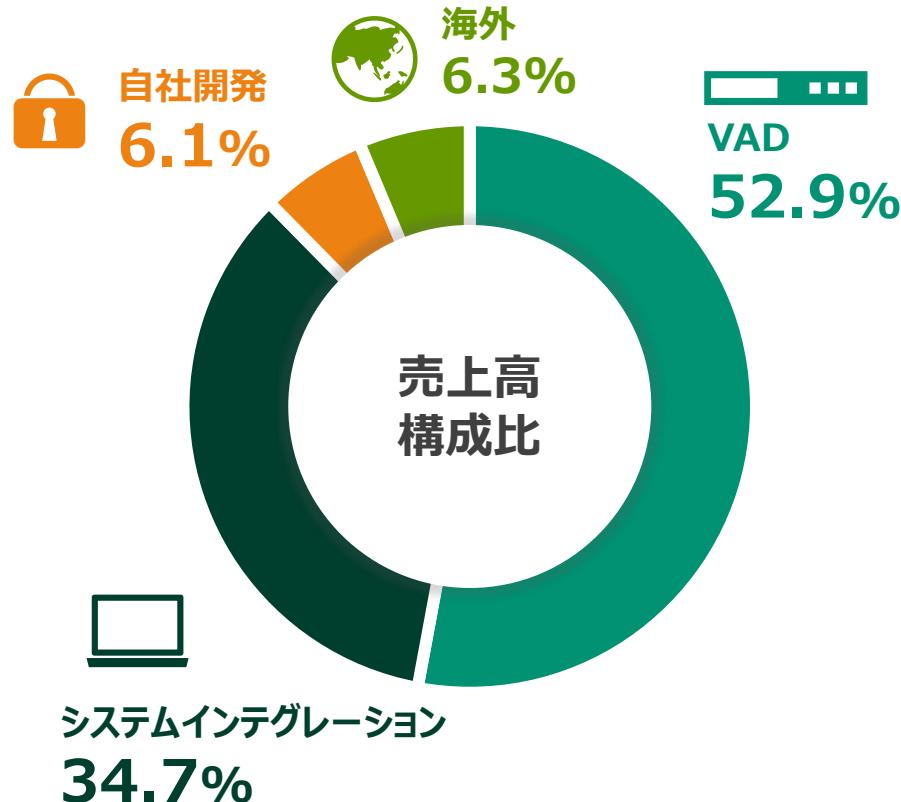
VADは複数の大型案件の売上計上ならびに保守の堅調な増加と収益改善により増収増益

システムインテグレーションは学術・公共案件やサービス業向けインフラシステム案件により増収となったものの減益

自社開発はRevoWorksが自治体関連案件を中心に好調

ストック性の高いRevoWorksクラウドやセグエセキュリティのセキュリティ関連サービスも着実に伸長

海外はFirst One Systemsが加わり、売上高・利益ともに増加



VAD ビジネス	売上高 52.94億円 +11.6%	売上総利益 14.02億円 +36.2%
システム インテグレーション ビジネス	売上高 34.73億円 +20.5%	売上総利益 6.05億円 -9.3%
自社開発 ビジネス	売上高 6.05億円 +10.2%	売上総利益 3.44億円 +2.1%
海外 ビジネス	売上高 6.32億円 +170.1%	売上総利益 2.06億円 +123.9%

■ VADビジネス

- ✓ DXインフラやサイバーセキュリティ需要により、受注は極めて好調に推移
- ✓ Juniper、Extreme製品等の複数の大型案件の売上を計上
- ✓ ストック型収益となる保守サービスは堅調に推移するとともに収益性も向上
- ✓ デジタルガバメント関連の超大型案件を受注

【官公庁向け超大型案件獲得に向けた今までの取り組み】

◆主力事業会社であるジェイズ・コミュニケーションにおいて展開

・2024年10月：「デジタル・ガバメント推進部」を新設

当社取り扱い製品を訴求する営業活動を実施

・GSS（ガバメントソリューションサービス※）案件3件を販売パートナーより受注

・売上計上は大部分がQ3以降となり、2026年以降も続く

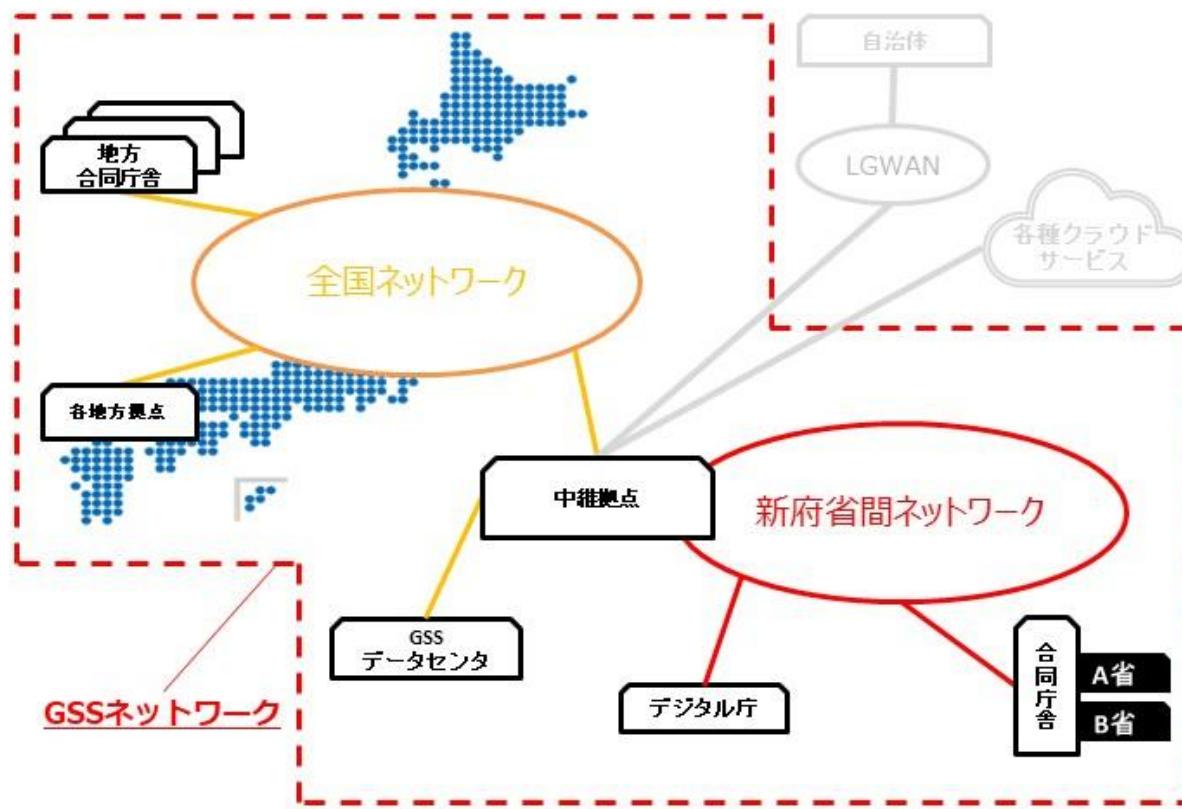
※GSSの詳細については、次頁を参照

— ガバメントソリューションサービス（GSS）とは

資料出所：デジタル庁
有識者会議資料2024/5/29より

デジタル社会の実現に向け、行政機関の利用するデジタル基盤の高度化が必要となっている。

ガバメントソリューションサービス（GSS）では、その中の重要な要素である、政府の共通基盤となる、柔軟で合理的なネットワークの構築と運用を行う。



「デジタル社会の実現に向けた重点計画」（閣議決定）の記載事項の概要

【ネットワーク面】

- ✓ 現在利用する「政府共通ネットワーク」は廃止し、新たな府省間ネットワークを構築、運用
- ✓ 国と地方支分部局等との接続に際して、整備が完了した独自の回線網（全国広域ネットワーク）の利用、運用を開始する。

【業務実施環境面】

- ✓ 政府共通の標準的な業務実施環境を提供
各府省庁はネットワーク更改を契機にこの環境に統合

■ システムインテグレーションビジネス

- ✓ サービス業のエンドユーザーへのインフラシステム案件、学術・公共向け案件が業績に寄与
- ✓ パートナー技術者の活用により一部利益率が低下
- ✓ エンドユーザー向けサービスKaetecビジネスの不振

■ 自社開発ビジネス

- ✓ RevoWorksBrowser 地方自治体や医療機関向けの諸案件を着実に獲得
- ✓ RevoWorksクラウドは、大手金融機関向けの提供が寄与
- ✓ セグエセキュリティは、計画通りにセキュリティ・マネジメントサービスが伸長、
アジアで初めてアクロニス MSSP 認定を取得し、セキュリティサービス展開をさらに強化

■ 海外ビジネス

- ✓ ISS Resolutionは新規事業の立ち上りが遅れるも、First One Systemsが
連結対象として加わり、前年同期比増収増益
- ✓ 今後、DXインフラやサイバーセキュリティ需要にフォーカスした事業活動に注力

業績は好調に推移し、売上高、売上総利益、営業利益は過去最高値を更新！

上期受注の超大型案件は、下期以降の業績に寄与

単位：百万円

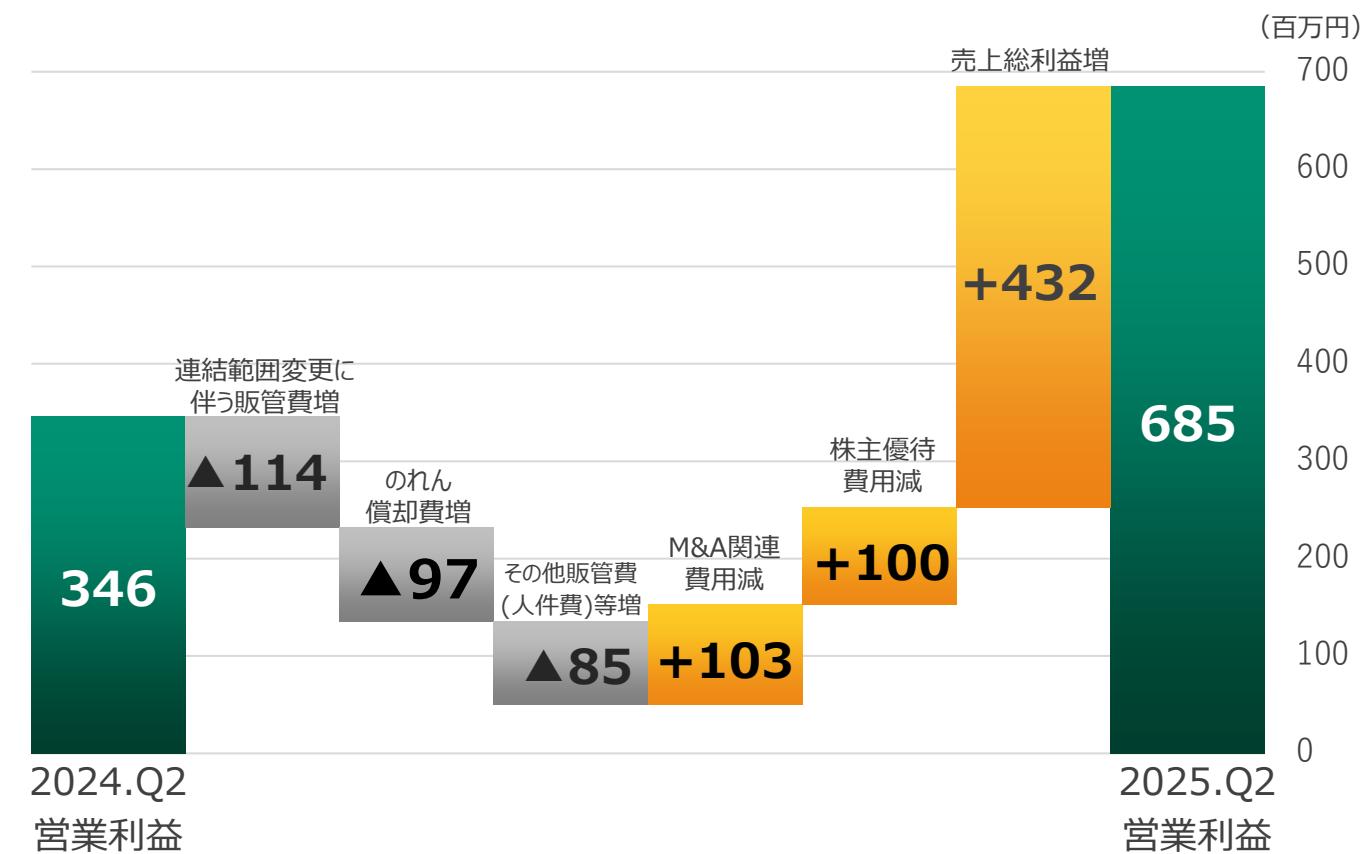
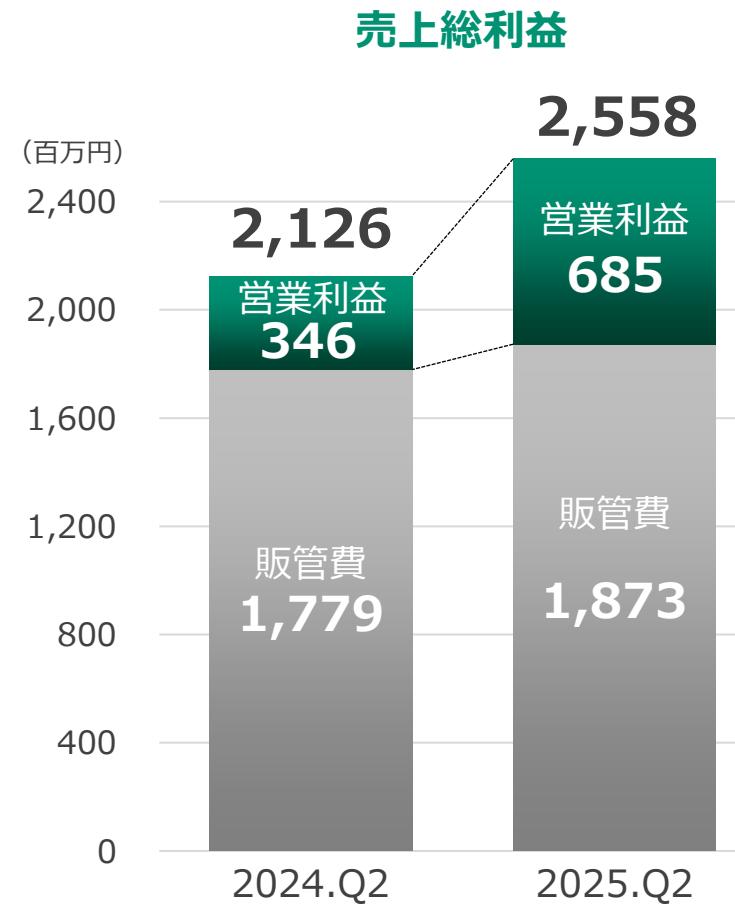
	2024.12 Q2	2025.12 Q2	前期比		通期予想 (期初)	進捗率
			増減額	増減率		
売上高	8,410	10,000	+1,590	+18.9%	22,500	44.4%
売上総利益	2,126	2,558	+432	+20.3%		
(利益率)	25.3%	25.6%	+0.3pt			
販売費及び一般管理費	1,779	1,873	+93	+5.3%		
営業利益	346	685	+338	+97.5%	1,260	54.4%
(利益率)	4.1%	6.9%	+2.7pt		5.6%	
経常利益	739	677	▲62	▲8.4%	1,260	53.7%
(利益率)	8.8%	6.8%	▲2.0pt		5.6%	
純利益※	434	402	▲32	▲7.2%	701	57.3%
EBITDA※	446	891	+445	+99.8%		

※2025年8月13日付「通期連結業績予想の修正(上方修正)に関するお知らせ」にて開示

※親会社株主に帰属する中間純利益又は当期純利益

※EBITDAは「営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費」にて算出

売上伸長に加え、事業入れ替え（M&A、カーブアウト）により売上総利益は大幅に増加
前期発生の一時費用の解消もあり、営業利益も大きく増加（前年同期比198%）



連結貸借対照表

今後の売上となるストック型サービスが堅調に推移し、前受金が大幅に増加
出資先のZenmuTechが東証グロース市場へ上場し投資有価証券額が増加

単位：百万円

	2024.12 Q2	2024.12 期末	2025.12 Q2		2024.12 Q2	2024.12 期末	2025.12 Q2
流動資産	11,072	10,795	12,782	流動負債	8,759	8,312	10,571
現金・預金	4,144	3,909	3,983	買掛金	2,128	1,410	2,691
受取手形、売掛金及び 電子記録債権	2,118	3,094	3,681	短期借入金等	560	632	903
棚卸資産	2,546	1,687	2,663	前受金	4,591	4,873	5,673
その他	2,262	2,105	2,453	その他	1,479	1,396	1,303
固定資産	3,119	2,837	4,131	固定負債	1,938	2,127	2,039
有形固定資産	389	377	401	負債合計	10,698	10,440	12,610
無形固定資産	1,584	1,575	1,422	純資産合計	3,493	3,193	4,302
投資その他資産	1,145	884	2,307	負債純資産合計	14,192	13,633	16,913
資産合計	14,192	13,633	16,913				

業績予想の修正（上方修正）について

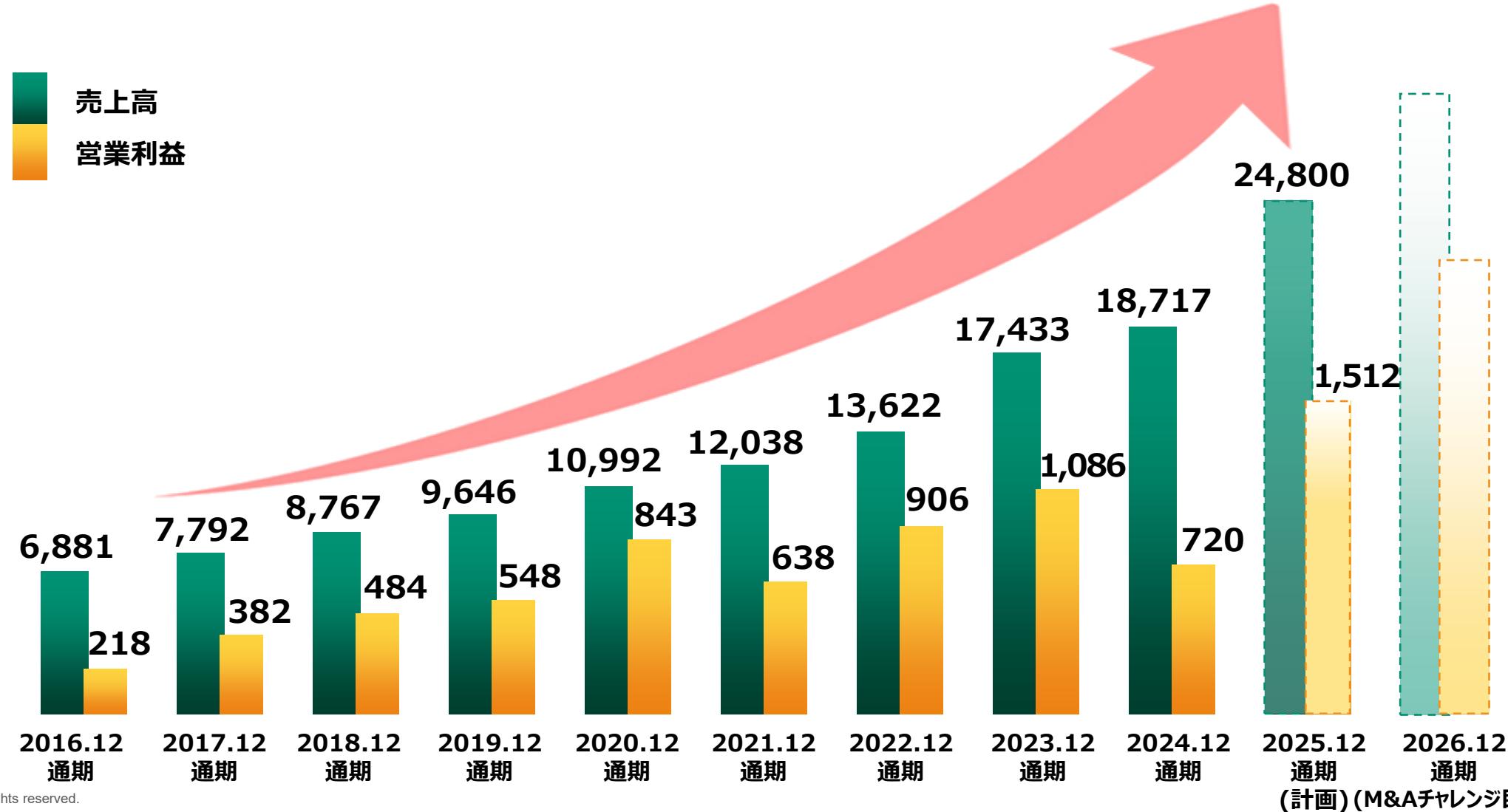


足元の好調な業績進捗と超大型案件の受注により通期業績予想を上方修正
来期以降に向けた投資も併せて実施

単位：百万円

	2025年12月期 業績予想 (修正前)	2025年12月期 業績予想 (修正後)	増減
売上高	22,500	24,800	+2,300
営業利益	1,260	1,512	+252
(利益率)	5.6%	6.1%	
経常利益	1,260	1,480	+220
(利益率)	5.6%	6.0%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	701	780	+79
1株当たり当期純利（円）	22.15	24.58	+2.43

今期の業績予想上方修正を踏まえ、中計およびチャレンジ目標の達成が視野に
その先の「さらなる飛躍」に向けて、継続的な成長をはかってまいります



(参考) 中期経営計画における「Segue300 業績目標」



2024年5月22日付 当社「新中期経営計画（2024 年度～2026 年度）策定に関するお知らせ」より

単位：百万円

	2024.12期	2025.12期	2026.12期	参考 2026.12期 M&Aチャレンジ
売上高	18,800	22,500	26,000	30,000
売上総利益	4,680	5,750	6,880	7,840
（利益率）	24.9%	25.6%	26.5%	26.1%
販売費及び一般管理費	3,720	4,490	5,080	5,840
営業利益	960	1,260	1,800	2,000
（利益率）	5.1%	5.6%	6.9%	6.7%
経常利益	1,330	1,260	1,800	2,000
純利益※	773	701	1,050	1,178
(参考) EBITDA	1,150	1,600	2,160	2,610

※親会社株主に帰属する当期純利益

※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

本資料は、情報提供のみを目的として作成するものであり、当社株式の購入を含め、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。

本資料で提供している情報は、金融商品取引法、内閣府令、規則並びに東京証券取引所上場規則等で要請され、またはこれらに基づく開示書類ではありません。

本資料には財務状況、経営結果、事業に関する一定の将来予測並びに当社の計画及び目的に関する記述が含まれます。このような将来に関する記述には、既知または未知のリスク、不確実性、その他実際の結果または当社の業績が、明示的または默示的に記述された将来予測と大きく異なるものとなる要因が内在することをご留意ください。これらの将来予測は、当社の現在と将来の経営戦略及び将来において当社の事業を取り巻く政治的、経済的環境に関するさまざまな前提に基づいて行われています。

本資料で提供している情報に関しては、万全を期しておりますが、その情報の正確性、確実性、妥当性及び公正性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、予めご了承ください。

IRについてのお問い合わせ先

セグエグループ株式会社 経営企画部 IR担当

<https://segue-g.jp/ir/contact/>